

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】企業とグローバル人材		
担当者(Instructors)	田村 豊	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
企業がグローバルに活動するためには、どのような人材が必要なのでしょうか。講義では現在企業がどのような活動環境に立たされているのか理解を深め、そうした中でいったいどのような人材や能力が必要になっているのか、理解していきます。日本企業、欧米企業、それぞれの違いがあり、求められる人材も異なっていることなど、企業、業界で必要となる人材も異なり、今後、どのような人材になっていったらよいか、考えていきます。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式

■ 各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	講義のねらいと概観	講義のねらい、受講上の注意点の説明	☐
第2回	企業の活動とグローバル化した世界 （１）概観	グローバル化した世界を概観します。	☐
第3回	企業の活動とグローバル化した世界 （２）地政学理解	地政学の視点からグローバル化の進展を解説します。	☐
第4回	企業の活動とグローバル化した世界 （３）企業別理解	企業の活動とグローバルの視点からグローバル化の意味を解説します。	☐
第5回	グローバル化の歴史（１）第２次世界大戦まで	グローバル化の歴史を振り返り解します。	☐
第6回	グローバル化の歴史（２）第２次世界大戦以降	アメリカ企業の展開を軸にして企業のグローバル化を振り返り解説します。	☐
第7回	企業の国際化と異文化理解（１）	企業活動における異文化理解の重要性を解説します。	☐
第8回	企業の国際化と異文化理解（２）	企業経営とクロスカルチャーの関係を解説します。	☐
第9回	企業の国際化と異文化理解（３）	企業内での異文化理解の状況にどう対処するのか解説します。	☐
第10回	グローバル人材の要件（１）グローバル人材に必要なものは何か？	日本企業での働き方と海外企業を比較します。	☐
第11回	グローバル人材の要件（２）グローバル人材と語学の役割	日本企業の人材育成、モチベーションの形成を海外企業と比較します。	☐
第12回	グローバル人材の要件（３）組織風土を考える	グローバル化する企業活動と企業風土の関係を解説します。	☐
第13回	グローバル化社会への見通し（１）グローバル人材の役割のまとめ	グローバル人材になるための条件としての語学の役割を検討します。	☐
第14回	グローバル化社会への見通し（２）これから必要なことは何かまとめてみよう	グローバル人材になるための条件を解説します。	☐
第15回	講義まとめと補足	講義から学んだことをまとめます。	☐

■授業時間外学習 (予習・復習) の内容(Preparation/review details)
講義での課題を調べたり (2時間程度)、講義で出された課題やまとめを行う (2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
毎回提出される「感想シート」の内容を元にして、各回の講義においてそれぞれの質問や疑問に答えていく。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019国際ビジネスDP1	これからの国際化にどのように対処するか、主体的に問題をとらえ自分なりの意見をまとめることができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
60%	0%	0%	40%	0%

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		